

第3学年 特別活動（学級会活動）学習指導案

日 時 平成16年11月5日（金）5校時

場 所 3年A組教室

学 級 3年A組男子12名 女子26名 計38名

指導者 佐藤 裕太郎

1 題材名「生徒会引継ぎに向けて」

2 題材設定の理由

（1）題材について

特別活動の目標に、「望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り」という言葉がある。これは、生徒一人一人がもつ様々な個性が、集団活動の中で互いに認められ、また高められることで育まれるものである。

目標を達成するための様々な特別活動が本校の教育課程にも組み込まれているが、中でも日常の学校生活や行事の充実を目指し活動してきた生徒会活動は、学級全体の約3分の1が生徒会役員を務めている3年生にとって大きなウェイトを占めるものであった。昨年度の生徒会活動を引き継ぎ、学校の中心となって活動してきたが、それもいよいよ後輩に託す時期がやってきた。

そこで、これまでの生徒会活動を振り返りながら、学級そして個々の成長や課題を実感したり、また生徒会役員選挙から、その後の引き継ぎに向けて最上級生である自分たちはどうあるべきかを考えさせる機会として本題材を設定した。

（2）生徒について

全体的に様々な行事を盛り上げようとか成功させようといった意欲のある生徒が多く、体育祭や文化祭ではクラス一丸となって綿密に計画を立てて活発に活動したが、日常生活においては時間のけじめや服装などに自己中心的な考えを持ち、教師側からの指導を素直に聞き入れられない生徒も少なからずいる。

本校は来年度統合を控えているが、それに関わる生徒たちの日常会話を聞くと、後輩たちが新しい学校生活をスタートさせるために様々な課題を抱えている実態をよく把握しており、また自分たちは浄法寺中学校単独としての最後の3年生であるという意識も強いと感じる。しかし、それらが学校の伝統や校風を後輩に伝え、よりよい方向に後輩を育てようという、最上級生としての具体的かつ日常的な行動につながっているわけではない。これは生徒会活動の目的が行事の成功を目指すものであるという意識にばかりに向かい、日頃のけじめのある生活が、様々な活動をより充実したものにしていけるのだという意識が薄いためであると感じている。

（3）指導について

本題材は、生徒会活動を個々の視点から振り返り、成果や反省を発表させることから始まる。行事における様々な成果を後輩にも味わってほしいという気持ちを持たせたり、また日常生活の向上という視点から見れば自分たちがリードしてきた生徒会活動はどうだったのかを考えさせ、本時につなげていく。

本時は、生徒会活動引継ぎの時期が近づいてきたことから、自分たちが最上級生としてどうやって後輩を支えていけばよいかを学級会を取り入れながら進めていく。互いの考えを聞き、それぞれの視点で最上級生としての自分の在り方を考える時間としたい。

本題材を通して、様々な行事や合唱活動に進んで取り組んできた自分たちのよさを後輩にどうやって伝えていけばよいかを考えさせたり、また日常においても後輩の生徒会活動を支えていけるように、自分たちがもつ生活面での課題を進んで改善できるような態度を育てたい。

3 題材の評価規準

- (1) 話し合い活動に積極的に参加し、自分の考えを書いたり、発表している。 (関心・意欲・態度)
- (2) 他の生徒の考えを聞き、よりよい生徒会活動が行われるように考え、判断している。(思考・判断)
- (3) 課題解決に向けて自分の考えを、文や話す内容で適切に表現している。 (技能・表現)
- (4) よりよい生徒会活動とは何かを知り、理解している。 (知識・理解)

4 指導計画

- (1) 自分たちがリードしてきた生徒会活動の成果や反省を振り返ろう・・・1時間
- (2) 生徒会引継ぎの時期を迎えた今何をすべきかを考えよう・・・1時間(本時)
- (3) 事後の指導
 - ・ 帰り短活 本時における他の考えを紹介する。
 - ・ 帰り短活 生徒会役員選挙に向けて考える場を設ける。

5 本時の指導について

(1) ねらい

生徒会引継ぎの時期を迎えた今、最上級生として後輩のためにできることや今後の生活について、周囲の考えを聞きながら判断し、考えをまとめていく。

(2) 本時の展開

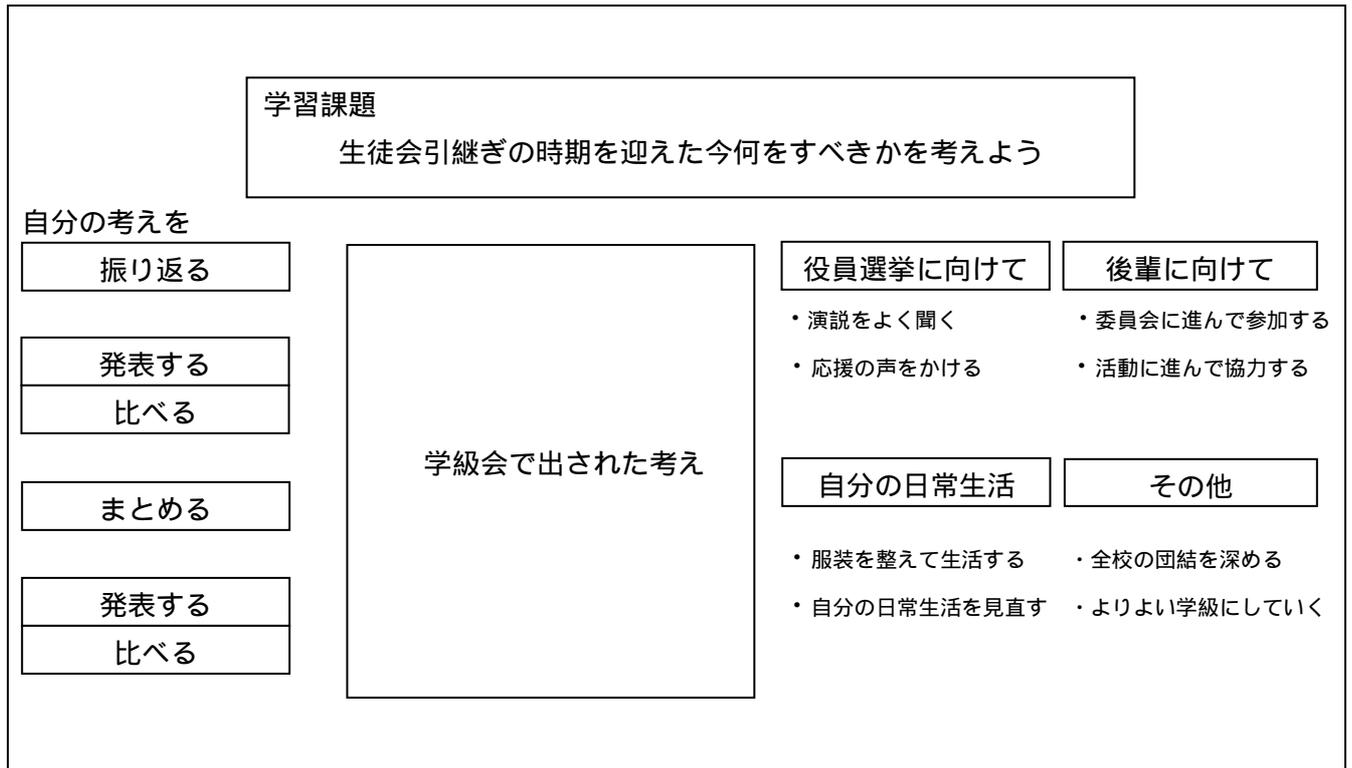
段階	時間	活動の内容	指導上の留意点	評価	資料等
導入	10	1 前時の学習を振り返りかえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会活動における成果や反省を個々に想起させる。 ・ 本時のねらいを理解させる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に出された考えをまとめたプリント
		2 学習課題を確認する。			
展開	20	3 考えを出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級会形式で進める。 ・ 選挙立候補者や後輩全体、自分自身の生活に関わることなど様々な視点から考えが出されるように支援する。 ・ 周囲の考えをメモさせる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学活シート
		4 学習課題について自分の考えを書く。			
		5 意見交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な視点から考えが出されるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学活シート

終結	5	6 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲の考えを聞いてどう感じたか、2・3名に発表させる。 ・ 本時の様々な発表を振りかえり、生徒の活動を評価する。 	
----	---	--------------	---	--

(3) 具体の評価規準

周囲の様々な考えを聞き、自分なりの視点で後輩のよりよい生徒会活動を支える行動を具体的に考え、判断し、学活シートに記入することができる。 (思考・判断)

(4) 板書計画



生徒会引継ぎに向けて その2

テーマ

生徒会引継ぎの時期を迎えた今何をすべきかを考えよう

1 学級会 ~自分の考え・他の意見を聞いて(メモ)~

自分の考え
メモ

2 学級会を終えて ~自分の考え~

3 今日の授業を終えて ~感想~

生徒会引継ぎに向けて その1

テーマ

自分たちがリードしてきた生徒会活動を振り返ろう

1 あらためて考えてみると、「生徒会活動」とは何か。

- ・よりよい学校にしていくためにみんなで協力していくこと。
- ・生徒のためにいろんなことを実行してくれる活動。
- ・いい学校をつくるのにとっても大切な役割だと思う。
- ・生徒の生徒による生徒のための活動。
- ・浄中をよりよくするために、充実した生活を送れるために、生徒が中心となって企画などを立てていくもの。
- ・全校生徒と代表で成り立つ活動。
- ・生徒の生徒による生徒のための活動。生徒がよりよく生活するための活動。
- ・この学校をよりよくするために生徒が行う活動
- ・生徒会本部を中心に生徒自身が行う活動。
- ・学校づくりのために生徒が行う活動。
- ・「生徒による生徒のための活動」みたいな感じ。
- ・全校が取り組める大切な活動。
- ・生徒なしではできない活動。
- ・生徒がリードして進めていく活動。
- ・自分たち自身のための活動。
- ・この学校をよりよくする。
- ・全校生徒がよりよく生活できるような活動を行う。
- ・浄中をつくるどころ。
- ・全校の全校による全校のための活動
- ・私たちがやるもの。私たちが主役の活動。
- ・生徒とともによくなり、次々と引き継がれるもの。
- ・皆のために活動すること。
- ・全校生徒の先頭に立ち、中央委員会などで決まったことを自ら活動しつつ皆に教えるもの。
- ・生徒が自分たちで学校のためになること。
- ・浄中がもっとよくなるように活動するための組織。
- ・生徒の生徒による生徒のための活動。
- ・生徒会が主に計画を立てて行動し、みんなで作り上げる活動。

- ・生徒がやるもの。一人一人のきずなを深め、チームワークをよくするもの。
- ・人付き合いを学ぶもの。
- ・たくさんの思い出を作るもの。
- ・社会に出ていくための準備。
- ・楽しい生活を送るためのもの。
- ・よりよき学校をつくるための活動。
- ・相手のため、自分のための活動。
- ・学校をよりよくするための活動。
- ・生徒が中心で計画から実行まで自分たちでやって、充実した学校をつくりあげるもの。
- ・全校が交流できたり、協力し合ったり一丸となってよりよいものをつくる活動。
- ・生徒による生徒中心で行われるもの。
- ・全体の先頭に立って活動する人たち。
- ・この学校をよりよくする活動。
- ・生徒の代表として選出される人が、学校と生徒を活発にするような行事や仕事をする会。
- ・生徒が自分たちの考えを出し合ってやる活動。
- ・自分たちの生活を良くするために考える活動。
- ・みんなで協力して行う活動。

2 入学してからこれまでの生徒会活動をふりかえってみると、自分たちが中心となって学校をリードしてきた生徒会活動はどうだったか。

- ・大成功で終わったと思います。いつもより3年生のときのほうが、充実感があつた。サイコーのもの。青春です。
- ・自分たちでできたことがうれしかったし、達成感があつた。行事の活動を通してまとまれた。
- ・楽しかった。
- ・1・2年生として見て、また生徒会活動を今の自分たちの生徒会活動とくらべると、以前の3年生に劣らないようなすばらしい生徒会活動だった。
- ・体育祭や紫桂祭でみんなで協力し、1・2年生を引っ張ってこれた。
- ・少し上に立ってみて、全校をまとめたりして大変だったけど充実感があつた。
- ・自分たちで作り上げたという達成感がすごく感じられた。
- ・自分たちが3年生になり、生徒会活動を引き継いでから、たくさん改革もして回りの人たちも楽しめていたから、よかったのかなあと思った。なんかすごい気持ち良かった。
- ・今までの先輩たちの良い所を取り入れ、私たちがなりの活動をしたことで、先輩たちに負けないくらいよい活動ができた。
- ・どの行事でも大成功を収めることができたのは、生徒会の活動があつたからこそだと思う。
- ・すべての行事、生活が自分たちのプラスになったと思う。行事は成功に終わり、たくさんの思い出ができた。あつという間だった。大きな行事が終わるごとにクラスがいいほうに変わっていき、成長してきた。反省や課題がみつきり解決されてきた。毎日協力しあえた。
- ・はじめ、先輩の人たちがやってくれてすごいと思った。自分たちがやってみて大変だったけど、よかったと思う。
- ・年々重ねるごとにいいものができていたと思う。
- ・行事のときは、一人一人が主役になって準備も本番も頑張った。
- ・私たちが入学して、そのときの2・3年生が行っていた生徒会活動もすごくいいなあと思ったけれど、でもリーダーの人とか私たちがやった生徒会活動は、今ま

- でやったことがない新しいことを取り入れたりしてとてもいいものになったと思う。
- ・活動内容を言っても実行できないところなどがあつた。
- ・うまくいった点もあり、決めたことが成功したこともあつてよかった。
- ・1・2年をリードしてきたと思う。
- ・よりよいものを作り上げられてよかった。しかし、自分をもっと先輩らしくというよりかリードできていなかった。
- ・1年生のときは生徒会活動が何なのか、いつ何をしているのかわからなかったけど、生徒会本部になってやるのが明確になった。全校が協力してくれるありがたさがわかつた。
- ・自分たちで納得するものを作り上げることができた。「達成」みたいな。1・2年生のときは先輩に感謝したし、3年生になって後輩に感謝した。
- ・本部でない2年生のときは生徒会活動がよくわからず、自分たちの生活の中にあるのかわからなかった。3年生で生徒会のメンバーになると、いろいろな活動をしていかなければならないし、大変だった。浄中のこれからを決めるため責任を持って活動した。
- ・行事を自分たちで作り上げて進めるので達成感があつた。
- ・生徒会が身近に感じた。
- ・よかったと思う。
- ・みんなで協力し合っていてとても良いものになったと思う。充実していたと思う。
- ・今年の体育祭や紫桂祭を終えたとき、1・2年生の時とは違う達成感があつた。頑張つてよかった。
- ・全校がついてきてくれて毎回成功している。
- ・今までの先輩たちとは違う自分たちらしい活動ができたと思う。なんか、「まじめ」だけじゃなくて「明るく楽しい」って感じだったと思う。みんなで頑張れて、みんなで楽しめる活動だった。
- ・入学当時、やらされ仕事のように活動してきた自分だが、公約を宣言したので、自分たちが率先して行う生徒会活動が理想だった。やり方を変えられたことにより、自分たちらしい、率先して行うことができる活

動になったと思う。3年生という立場としてもリードしなければという考え方ではなく、全員が活動できれば充実するものだと感じた。

- ・壮行式や体育祭で全体を引っ張ることができた。
- ・行事では全校が一つになって活動することができた。
- ・全校で取り組んだことにより、新しいことを学んだり、シニアボランティアの高橋さんたちのように体験したことを直接知ることができたし、たくさんの支援ができたと思う。行事では一人一人活動し、団結して、見ている人が感動できるようなものができた。
- ・とても学校を盛り上げ、団結力をより深めることができ、勉強以外のいろんなことを学べるよいものだと思う。
- ・身近に活動が行われていて、自分たちで作り上げた感じがするし、生徒の意見が取り入れられやすくてよりよい活動ができていたと思う。今までにはなかった活動が取り入れられることで、もっともっと生徒会活動はよくなると思う。
- ・体育祭等を成功させられるように頑張って、無事に成功することができたこと。
- ・生徒会が企画したものを全校の生徒で協力し、よりよいものができていると思う。

生徒会引継ぎに向けて その2

テーマ

生徒会引継ぎの時期を迎えた今何をすべきかを考えよう

- ・ ついさっき、新しい生活委員長の責任者をしてくれと頼まれた。今、自分が一番してあげたいことは、その人の応援、そして支えになり、助けになってやればと思う。
- ・ 自分自身が最後までやりぬくことと、自分が今まで学んだことをさりげなく呼び出して直接伝え、その人の意志や決意をぜひ聞きたい。
- ・ 自分たちから始めるっていうことを、私たちの真剣な表情や終わったときの達成感のある表情とかから感じとって、これからにつなげていってもらいたい。
- ・ 特に行事などで不安に思っていることや困っていることなどについて、経験をふまえてアドバイスをしてそれをちゃんとわかってもらう。
- ・ 紫桂祭でやったアトラクションは来年もぜひ続けてほしい。大嶺の方にも伝統芸能はあるから、やって、明るく楽しく新たな浄中を見せてくれ！やれるだけのことは協力したい。
- ・ 今まで応援団といっしょに活動してきた、3年生から見てもまだ手振りが不安なので、その不安なところをなくせるように冬季特訓を企画したい。
- ・ 皆が思っているように、新生徒会の人々の伝統などを伝えたいと思った。
- ・ 意見を交換すればいいと思う。
- ・ 合唱 男子・女子の気持ちを1つにし、1つの合唱をつくる。気持ちを込める。スポーツ 自分の納得いくまでとことん練習する。自分の限界にチャレンジする。あきらめない。全部を通して とにかく、なにをやるにも悔いの残らないやり方をし、とことん楽しもう。
- ・ 仕事を忘れないように自覚を持ったり、委員長だから自分のやり方でみんなをひっぱってまとめてほしい。よかった部分も悪かった部分も少しずつ改善して自分だからできる委員会を作ってほしい。委員長だからって重荷に感じないで、困ったときはみんなに助けてもらえばいいと思う。気持ちを楽に持つてやるときはちゃんとやれば大丈夫。
- ・ 引き継いでくれる後輩と直接話し合いの場を設けて、これからどのような活動をしていきたいのか、考えを聞きながらアドバイスしていきたい。委員会活動では、自分たちがやりたいけど、やることができなかった活動を提案したり、もっともっと新しい活動を増やしてほしい。
- ・ 私たちが新しいことを取り入れて活動してきたことを1・2年生に伝え、そして、1・2年生がさらにそれを取り入れて新しいことにまた挑戦してほしい。
- ・ 応援団がこれまで以上に活発に活動するために手振りや応援歌などの練習に冬休みなども協力していきたい。
- ・ 私たちががんばってきたこと、やってきたことを後輩に伝え、これからの生徒会活動にいかしてほしい。そして、私たちができなかったことや新しいことにチャレンジしてほしい。その活動に協力していきたい。
- ・ 元委員長やリーダーなどの体験したことを聞いたり伝えたりする時間があればいい。
- ・ 部活で自分たちの果たせなかった夢や想いを伝える。
- ・ 活動は伝統を守るということだけではないこと。自分がやりたいと思ったら実行してほしい。委員長として大変なこともあると思うけどすごくやりがいがあることを知ってほしい。最後まで運動委員

会を見守っていききたい。

- ・ 行事などで、自分たちがやってとてもよかったこと。例えばみんながおそくまでずっと活動をしていたなど他にもいろんなことを1・2年生に教えてあげたい。
- ・ かげから1・2年生を支えてあげたいと思う。何の委員会にも入ってないけど、できれば、できるだけことはしたい。
- ・ 今までに大切にしてきたものはむだにしたくないし、こういうことをすればいいんじゃない? という相談とかしてもいいかなと思いました。
- ・ 合唱のすごさ。すばらしさを伝えて、いつも合唱が響き渡るようなクラスであってほしい。行事などのとき、みんなを指示してリードしていくやり方など。
- ・ 委員長をやってきて、やってよかったと思ったこと、大変だった時のこと、これは続けてほしいと思うことを直接伝えたい。3年生が1つになっているんなことを乗り越えてきたことも教えてあげたい。
- ・ 浄中の伝統をもっといっぱい作ってほしい。
- ・ 1・2年生の応援団の活動のときに、時間があれば手伝う。応援の手振りなどをいっしょに練習する。2年の団長が困っているときは助けるなど。自分がやれること、知っていることを1・2年に伝える。
- ・ 自分は応援団で遅刻点検を中心にやっている。今後は新しく入る応援団員に冬季特訓でしっかりと手振りを教えたりして、大嶺と統合してもしっかりとやれるようにしたい。
- ・ 1・2年との交流会みたいなので意見を出し合って自分たちが学んできたことを伝える。
- ・ 毎日の身だしなみをもっとよりよくしてほしい。自分に教えてあげられることはないと思うが、できるかぎりはしたい。
- ・ 合唱に真剣に取り組む姿勢、各行事に一生懸命取り組む姿勢など忘れてほしくない。だから新リーダーにはその思いを伝えたいし、伝えられるように今までもがんばってきた。
- ・ 1・2年と交流する時間を持って、今までの伝統や、私たちが伝えたいことを伝え、後輩からも、こちらからどんな活動をしていきたいのか、どんな浄中にしたいのか聞きたい。
- ・ 浄中らしさ、伝統を残し伝えるために合唱をやりたい。合唱にたくさんの思い出がある3年生だから後輩たちに伝えられると思う。全校で歌ったり、3年生の合唱を聞いてもらいたい。
- ・ 新しく執行委員になる人に全校が協力してくれるありがたさを伝えたい。1つのことに全員で取り組むよさを伝えたい。何事にも一生懸命に取り組んでほしい。
- ・ 1・2年生に協力していききたい。
- ・ 生徒会長などの話をよく聞く。
- ・ 困っていたり、頭の上にある? がある人を見たら、そこに行って話を聞いてみる。 アドバイスをしてあげる。
- ・ 生徒総会でしっかり引継ぎをする。前期の反省を具体的に書き、次に生かしてもらえるように。行事の前、本部が一生懸命準備する姿(やる気など)をなくしてほしくない。
- ・ 放送での話し方やマイクの設置のしかたを教える。体育祭とかで自分たちがリーダーのときにどうということと苦労したとか、自分たちに後輩たちがついてきてくれたときのすごいうれしかったときの気持ちを伝えてそれで自分たちがどうしていききたいかを聞きたい。
- ・ 委員会などでも、自分たちの経験からどんな活動をしたらいいとかアドバイスする。体育祭の組リーダーになって、自分たちができなかったこととか、もっとよくするためにやってほしいこと。
- ・ 今までの活動で築き上げてきたこと、大切にしてきたことを日常生活にでも後輩に一言伝える。何をしたらよいか、どうしたらよいか相談にのって応援してあげる。伝統として響かせた合唱も十分伝えることができると思う。